

吾等がいかに事を好まむや。諸君の手にて懇知する、如くこの度の新
潟鉄工所蒲田工場の争議は徹頭徹尾會社から無理に言いつて来た喧嘩なうた。
先づ三月十九日、吾等の最も信頼する労働組合の幹部三名と突然解雇
して、組合を粉砕し様と試みた。そこで、吾等が其の不当を責つ、更に、我
等全体が常々不満に思つてゐた、賃銀制、退職手当、共済會に關し
て、其改善を會社に向つて要求した時、横暴な會社は、誠意ある回
答を與へず、代りに、不法にも吾等一同を工場より閉め出した。此處に、
吾等の糧道を断ちて、吾等をも威嚇し、脅迫する行為でなくてはならぬ。
從來、吾等は會社の過酷な虐使と圧迫に對して、忍ぶだけ忍んで来たが、
この人非人の行為に對して、最早や忍ぶ事は出来ぬ。吾等は、吾等の最も正當な
る要求を貫徹するため、吾等の生在權と團體權とを擁護する爲に、徹底的
に争ふ事を決心するの止む無に至つたのだ。賢明なる蒲田町民諸君、蒲田は
工場町であり、職人町である、町民の大多数は、貧窮なる大工場主、大役員家

のためには迫害を水、しほり取られぬ者である。吾等と諸君との
利害は同一である。新潟鉄工所が如き非道なる工場が蒲田町にあること
は、蒲田町の恥辱だ。

常に正義の味方なる蒲田及び蒲田附近の町民諸君、吾等の、
この正義の戦ひを理解し、吾等の行動に聲援を與へられよ。
吾等の敗北は正義の敗北なり。吾等の勝利は、正義の勝利なり。
來つて、吾等を援助せられよ。

大正十二年四月一日

新潟鉄工所蒲田工場争議團

(蒲田、矢口村、道沼、一八)